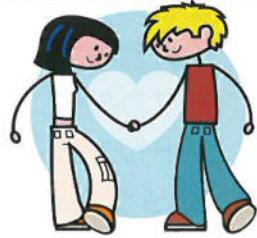


# 第31号 うつべ人権協ニュース

平成31年3月 発行  
内部地区人権教育推進協議会

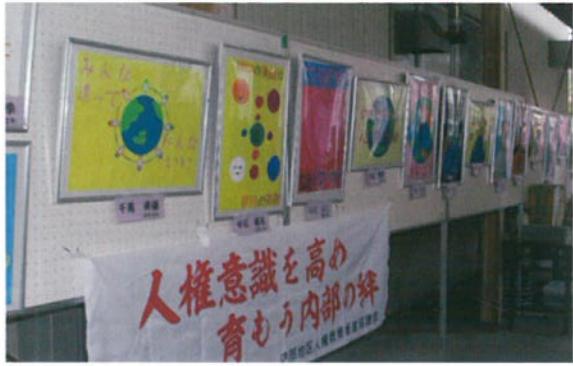


内部地区人権教育推進協議会は、「人が人として尊ばれ、住んでいてよかった 住んでみたいまち、うつべ」の実現をめざして、平成12年以来活動を続けています。

平成30年度の第30号以降に、内部地区、南部ブロックおよび四日市市で開催された人権に関する様々な事業の内容を皆様にお伝えするために、「人権協ニュース」(開催順に記載)を発行して各戸にお届けしますので、是非ご一読ください。

## 第50回内部地区文化祭に

『人権意識を高め、育もう内部の絆』のテーマで、啓発コーナーを開設



11月4日(日)、恒例の地区文化祭が第50回記念として開催され、今年も小学校と中学校の協力で、児童生徒の人権啓発ポスター(小学生11点、中学生17点)を掲示し、地区人権協の啓発部員が、市の人権センターの協力を得て、啓発物とアンケートを200人近くに配布しました。アンケートは、83人から感想を記した回答をいただき、「日頃、人権について考えたことがありますか?」の問いに、「ある」と61人が答え、コメントに「思いやりの精神かな?」とか「思いやり、ゆっくり角度

を変えてみること」などがあり、最も心に残ったポスターの投票でも『相手の気持ちを考えよう!!』『こころのきずは 治らないから!』等がありました。ハラスメントで世情の話題となった2018年、この言葉が、死語になる世の中を目指して、人権協の活動をしています。地域の皆様の協力と理解と、ともに歩もうと思う心を期待しています。

## 内部中学校で人権フォーラムが開催されました

～～「100人いれば100通りの『性』がある。」～～

11月29日(木)内部中学校で、校区内の小学校6年生と中学校2年生の368名が参加して「人権フォーラム」が開催されました。人権協の役員他、関係者も同席しました。この会は、内部地区の小中学生が共に集い、人権について話し合い、互いの考えを聴き合いながら交流を図ることを目的として毎年開催されています。

小中学生が45のグループに分かれ、内部中学校の生徒の司会でフォーラムがスタートしました。今回は「あなたもわたしも自分らしく生きるために」という演題で、「反差別・人権研究所みえ」の吉原隆行さんに講演をして頂きました。「100人いれば100通りの『性』のあり方がある。」というお話の中で、性を考える要素として、「からだの性」「こころの性」「好きになる性」があること。自分の体は世界に一つの体であり、体はひとりひとり違っていること。人の感じ方や考え方もひとりひとり違っていること。好きになる人も、異性を好きになる人、同性を好きになる人、好

きになる性にこだわらない人など様々であることから、「性」は多様であり自分の性のあり方を決めるのはその人自身であることをお話をされました。

次に、アメリカのテレビ番組「あなたならどうする？」を見ました。女性の同性カップルが子ども連れでレストランに入ったところ、店員から「この子には父親が必要だ。」「あなたたちを見ていて気分が悪い。」など差別的な発言を受けます。実は、カップルと店員は仕掛け人で、この様子を見た周りの客がどうするかを見るというのが番組の目的なのです。動画には、店員に抗議する客、同性カップルに励ましの手紙を書く客など様々な行動の様子が映されました。

その後グループで、もし自分ならどうするか意見を出し合いました。「店員を止める。」「何もせずに無視することは差別。」「店員は悪いが、勇気がないので後でカップルに話しに行く。」「だれかに話をする。」など、それぞれが自分の行動の仕方を考え交流しました。

吉原先生から、「店員を止めるという意見があつたけど、本当にできる？」と子どもたちに揺さぶりが、かけられました。

「たとえ止めることができなくても、みんなの意見にあったようにできることは様々ある。何もないことは、差別された人にとって一番つらいこと。自分には何ができるか考え、何かしら行動を起こすことが大切です。」と締めくくられました。

最後に中学生代表から、「どう考え、どう行動すべきか考え、自分らしく生きられる社会の一員として行動していきたい。来年の春には皆さんと内部中学校で会えることを楽しみにしています。」と挨拶がありました。

今回のフォーラムを通して、中学生と小学生が「性の多様性」について共に考え合えたことが貴重な体験になりました。



### 「じんけんフェスタ2018」の開催



12月4日から10日までの人権週間中の12月8日(土)四日市市文化会館にて、人権フェスタが盛大に開催されました。

人形劇「かくれ山の大冒険」、人権週間記念 映画：「八重子のハミング」の上映と、原作者陽信孝氏による「優しさの心って何？～朝顔につるべ取られてもらひ水～」と題した講演がありました。また、体験コーナーや福祉団体による物品の販売等も行われました。

四度のガン手術から生還した陽氏は、妻が若年性アルツハイマーを発症し互いに迫りくる死の影を見据えつつ、妻が次第に童女となっていく中で、かつて音楽の教師だった妻が徐々に記憶を失いつつも、大好きな歌を口ずさめば、笑顔を取り戻すことができ、家族の協力もあり妻を12年間介護し看取った中で、やさしさの心って何かを講演されました。

その中で次の短歌を詠み心境を語られていました。

「紙おむつ 上げ下げをする 度ごとに 妻は怒りで われをたたけり」  
「小尿を 流しし床を 拭くわれの 後ろで歌う 妻に涙す」  
「幼な子に かえりし妻の まなざしは 想いで連れて 我にそそげり」



介護の心は、妻が晴れやかに迎えるため行ったこと。暖かい心、互いに心が解ることは家庭教育が大事である。家庭、地域の中で生きていくために暖かい心は必要。生きる事は逃げないこと、そして優しさをつくること等感銘ある講演と思いました。また、映画の最後で、「いい日旅立ち」の歌が流され感動的でした。各会場では、各地区・各団体からの取組みの紹介・展示・体験など「人権のひろば展」が行われており、フードコーナーではたくさんの来場者で賑わっていました。

### 人権地区懇談会を開催しました

昨年11月から本年2月にかけて、各町自治会の協力を得て、南山の手を皮切りに貝家町、波木南台、采女が丘、波木が丘町、高塚町で開催しました。

今年度も市の人権センターから酒井孝彰所長はじめ、人権文化まちづくり担当の川北ひろみ先生、廣瀬あゆみ先生にお越しいただき、「わたしたちのくらしと人権」～つながり・ささえあう わたしたちのまち～と題して、兵庫県等が企画したDVD「桃香の自由帳」を鑑賞しました。このDVDは、小学校2年生の入江桃香さんが、近くに住んでいる膝の悪いおじいさんと公園で出会うことからはじまります。桃香さんの母親は、桃香さんが、このおじいさんやクラスメートから仲間はずれになっている子、堂本志穂さんとその母親と交流することに不安を感じており、ついに志穂さんやその母親との会話の中で声を荒げることになりました。その時志穂さんが、妊娠している桃香さんの母親に言った一言、「お腹の赤ちゃんが聞いている」が私たちの心を打ち、涙する参加者もみられました。その後桃香さんの母親の体調不良という突然のハプニングをきっかけに、「人と人とのつながり」により、生きることのすばらしさや喜びに繋がっていくことを再認識させられたすばらしい作品でした。



DVDを鑑賞した後、参加者はグループに分かれて感じたことを中心に意見交換し、つながり支え合うことの大切さと差別や偏見に結びつく言動について考えました。

最後に講師から、平成28年に施行された差別解消に関する3つの法律、「部落差別解消法」、「障害者差別解消法」、「ヘイトスピーチ解消法」(略称)について説明があり、人権尊重の第一歩である「何気ない言動を振り返る」、「身近な出来事に关心を持つ」ことの大切さを学びました。



## 南部ブロック「人権ひろば」

### 「人権作文」発表と「みんなでつながろう しあわせコンサート」の開催

2月3日（日）、楠福祉会館において南部ブロック「人権ひろば」が開催されました。これは、内部・日永・河原田・塩浜・楠の5地区が交代で毎年開催しています。

第1部では、小・中学生の人権作文の発表があり、内部地区からは内部東小学校6年生の坂本菜摘さんが「本当の気持ち」と題して、学校での友達との会話で悩んだことや、外国生まれの友達との遊びで困ったことなど自分が体験したことを通して、卒業までにどうしたらクラス全員が仲良くなれるのか自分なりの考えを発表されました。

第2部では、昨年度に続き、市内各地で講演



や様々な

音楽活動を続いている 花れん&扇谷研人による「みんなでつながろう しあわせコンサート」が行われました。

コンサートでは「上を向いて歩こう」、「虹色のしあわせ」や「フレディもしくは三教街・ロシア租界」などの歌とともに「人権」について分かりやすく親しみのある音楽と語りで会場は盛り上りました。

参加された皆さんには、この「しあわせコンサート」で人権についてつながりが深まったコンサートになったのではな

いでしょうか。

作文を発表する坂本菜摘さん

## 人権センターでは人権に関する教材を用意しています。

人権センターは、人権意識を確立し、暮らしの中に人権が根付いた、人権文化にあふれた社会の実現に向けて、人権教育・啓発を推進するための施設です。

地域、学校、職場、ご家庭などで、人権について学ぶための教材として、啓発冊子の無償配布や、図書、ビデオ、DVD、パネルなどを貸し出しています。

四日市市人権センター



お問い合わせ  
ご相談はこちちら！



### 四日市市人権センター

〒510-0085 四日市市諏訪町2番2号（総合会館7階）  
電話/059-354-8609 FAX/059-354-8611  
E-mail/ [jinkencenter@city.yokkaichi.mie.jp](mailto:jinkencenter@city.yokkaichi.mie.jp)